

**実績報告 別記第2号様式 別紙2の
テーマごとに作成してください。**

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	
園名	錦秋幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

5歳児—英語でウーバーイーツごっこ

<テーマの設定理由>

- ・自由あそびで行っているウーバーイーツごっこの中で、園児らが折り紙/毛糸などを使用して作った品物を、「英語で何て言うのだろうか」という強い興味を示したため。
- ・園児らが店員となり注文を取るという会話をしたいという関心へと繋がったため。

2. 活動スケジュール

- ・自由あそびでウーバーイーツごっこをしているなかで園児らが綿あめ、焼きそば、お弁当（ランチボックス）、ジュースなど様々な素材を使って制作する。
- ・園児らが作ったものの英語での名称を英語講師が教え、繰り返し発話して習得。
- ・注文時での受け答え、あいさつの文を習得。
- ・英語講師がお客さんになり、数人のグループに分かれた園児らは英語で注文を受ける。
- ・注文された品物を配達した際、注文にあっていればよいが、違っていたら再度、注文を聞き、それに沿った品物を取りに行く。
- ・全グループの配達を終了後、英語講師がその注文品とテーブルに並べられた品物を全員に見せながら英語の名称を復唱。
- ・オーダーは2回実施し、1回目は異なる品を単数で注文し、2回目は異なる品を複数注文することにより、難易度をあげる。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

・自由あそびでは、子どもたちがやってみたい、作ってみたいと思ったときに子どもたちが工夫して作ったりすることができる素材を日ごろから保育室や、フリースペースに素材置き場を設置し準備している。その中で子どもたちがウーバーイツごっこを始め、様々な品物を作ってあそんでいる。ウーバーイツごっこで注文を受け、自分たちで作った品物を届けることを楽しんでいる姿があった。このあそびの中に英語を取り入れることで、お客さんに自分たちの作った品物を届けたいという気持ちから英語を聞き取り、その品物を届け、あっているか、間違っているかの面白さ、ちょっとした緊張感がさらなる興味、関心、意欲につながる活動になるのではないかと考えた。実際、行ってみると教諭の英語を聞き、グループの友だちと単語の言葉を相談、確認しながらオーダーがあれば喜び、違っていると、また相談しながら品物を取りに行くことを楽しんでいた。



4. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

クラスの自由あそびで子どもたちが楽しんで行っていることに、英語で話すお客さんが来たという状況は、子どもたちにとって新鮮なことであり、また英語があっているかの、ちゃんとお客さんにオーダーされたもの届けることができるかという緊張感が、子どもたちの意欲につながり、オーダーされたものが届けられると「できた！」という自信にもつながった。このことが、英語に対しても親しみをもち、さらにほかの物の言葉も英語で言うとなんといいいのかという学習意欲につながっていった。

このクラスには、外国籍のお子さんがあり、そのお子さんの国でのあいさつや物の言葉を聞いてみたり、日本とは違う国があることにも興味が増す姿がみられほかの国の言葉興味、関心が増すことへとつながっているのではないかと考えた。